

## 第3回 北九州市景観審議会 改定検討部会 議事要旨

日 時：平成30年6月25日（月）13：30～15：30

場 所：北九州市役所本庁舎 13階 会議室

出席者：委 員 赤川委員(部会長)・籠田委員・坂本委員・柴田委員・城水委員 5名

### ■議事（1）北九州市景観づくりマスタープラン改定原案について

#### これまでの取組み

- ・景観アドバイザー協議など、これまでの取組の歴史を物語にして、後世に引き継ぐことも大切である。

#### 景観づくり目標

<目標5「人々が集い”おもてなし”を感じる景観づくり」について>

- ・おもてなしの“”（ダブルクォーテーション）で囲むのは強調しすぎて、おもてなしの心ということを使い過ぎると意味が分かりにくくなる。
- ・「おもてなしを感じる景観」、「賑わいのある景観」という表現は、具体的にイメージがしづらい。
- ・市民が日常の景観を誇ることができ、来訪者にも喜んでもらえるということだと思ふ。
- ・他都市からの来訪者に対して誇れる景観が大切であるという部分をどこかに盛り込んだ方がよい。

<その他>

- ・「歴史と文化を継承する趣のある景観づくり」や「ものづくりの躍動感とまちの活力あふれる景観づくり」などの景観づくりの目標と、場所を示す景観形成の基本方針の図との関連性が分かりやすくなるとよい。
- ・「地域の主体による景観づくり」という大切なキーワードは、トピックス（目標等）に記載した方がよい。

#### 行動方針

- ・行政の職員の「知る」「高める」機会を増やすため、庁内勉強会や景観研修などを企画・推進するなどの記載があるとよい。

#### 市民・事業者・行政の役割

- ・行政内の部局間で協議する場があることが重要である。
- ・行政の景観を担当する部署と事業部局との連携をもっと強くする必要があると思う。

#### 実現に向けた取組

##### **（届出・協議による景観誘導）**

- ・新たな取組が具体的に示されて良くなった。
- ・特に景観ガイドライン（推奨基準）の作成は大事である。
- ・景観アドバイザー会議で事業者の方に地域のことを考えたアドバイスを中々受け入れられないことが多い。まずは事業者が地元の率直な意見を聴く機会があって、その後アドバイザー会議に諮る2段階となるとよい。

### (景観づくりの普及啓発)

- ・小学生の景観学習を実施しているが、小学校6年間に1度は景観の教育を受けられるようになるとうい。
- ・景観啓発の教材のようなものを作成し、学校などに配布をしてはどうか。
- ・過去の経験から単発のイベントは、参加者が主体となって継続的に活動することが難しいため、自覚が生まれず上手いいかないことが多い。
- ・景観イベントの取組は、地域の団体が主体として行い、そこに学生が企画等で関わる方がよい。
- ・地域で景観づくりやまちづくりを頑張っている方に、臨時の景観アドバイザーとして参加していただき、発言することで自覚が育っていくと思う。

### (市民・事業者等の主体的な景観づくりの促進)

- ・門司港地区のように、八幡、黒崎、戸畑、若松などにも主体的に景観づくりの取組を行う人が出てきて欲しい。
- ・人材の発掘で終わりではなく育成まで必要であるため、「○景観づくりに意欲ある多様な人材の発掘」の末尾を「～発掘・育成」とすべき。
- ・担い手の人材の発掘の後に何をするのか、どういう仕組みの中で活動していくのかなどを具体化できると取組が進む。
- ・各地区にある既存のまちづくり団体に働きかけ、景観部会等の立ち上げや勉強会の開催の依頼をるところから始めるとよい。
- ・将来、景観づくりの担い手となるポテンシャルのある人は必ずいるので、まずは担い手を育てるシステムをつくる必要がある。
- ・景観づくりの担い手となっていくには、学習していくことが絶対に必要である。
- ・福岡市の事例では景観が良くなることで利益を受ける人を巻き込んでいるため、動き出すと早い。商業地だけでなく住宅地でも同じで、育成する人をターゲットとして捉えると、より主体づくりや意識の向上に繋がりやすい。
- ・取組の優先順位をあえて付けると、担い手づくりが最も大切である。

### (全体)

- ・「第5章景観づくりマスタープランの実現に向けた取組」について、具体的に活動の実感が感じられるように出来るだけ写真等を使用すべき。
- ・景観づくりマスタープラン自体を景観づくりを進めるツールとして戦略的に活用できるものとすべき。
- ・新たな取組について、もう少し具体的な記載や目標値の設定などをすると分かりやすくなる。
- ・景観づくりの担い手となる団体を増やしていくための、具体的な育成プログラムがあるとよい。

### その他

- ・パブリックで分かりやすいものだけでなく、高度経済成長に取り残された、実は市民に共感されている心象風景として共有されている景観もある。それが地域の強みでもあるので、全国画一的なつまらない景観づくりをするより、本当は面白いと思う。

以上